

## 低気圧と前線による大雨に伴う災害に係る 第8回災害対策本部員会議での知事の主な発言

### 1. 会議冒頭の発言

- 本日16時時点で、孤立集落は、昨日の16箇所から4箇所に減少した。特に輪島市西保地区では、自衛隊のヘリで集団避難していただいたところであり、改めて自衛隊に感謝申し上げたい。

引き続き、道路の啓開をはじめ、電気、上下水道、通信の復旧に全力を挙げてほしい。

- 今回の大雨では、輪島市、珠洲市の応急仮設住宅において、200戸を超えるご家庭で床上浸水し、生活に不可欠な家電製品にも被害が生じている。

まず、仮設住宅の入居時に据え付けられていたエアコンやIHについては、無償で、修繕・取り換えが可能であることをお知らせしたい。

また、県独自にこれまで支援していたテレビ・冷蔵庫・洗濯機の3点については、故障のため利用できなくなったものは、再度、支給させていただくこととした。

家電製品の故障でお困りの方は、遠慮なく、それぞれの市の担当窓口までご連絡いただきたい。

- 坂口輪島市長から要請のあった2次避難については、県としても速やかに受け入れが可能となるよう準備を進めている。

輪島市に、2次避難の受付、健康チェック等を行う窓口

をできる限り速やかに開設し、来週前半にも旅館・ホテルでの2次避難者の受け入れのスタートが可能となるよう現在、準備を進めている。

- 県の災害ボランティアバスについては、本日までに延べ184人の方に活動いただいております、本日から福井県からもバスを派遣いただいております。また、発災直後から多くの専門ボランティアにも被災地に入って活動いただいております、皆様の力強いご支援に改めて感謝申し上げます。

明日27日（金）は、県のボランティアバスの募集定員を105人から170人に拡大し、派遣地区も町野の東陽中学校や珠洲市の被災家屋現場をはじめ、現在の3カ所から5カ所に拡大して活動することとしている。

また、県のボランティアバス以外にも、例えば、ボランティア経験が豊富な方であれば、専門ボランティアやNPOが独自に募集している活動への参加をはじめ、様々な方法があるので、多くの方にぜひ能登への支援をお願いしたい。

道路の状況については、奥能登2市2町の国道、県道の啓開状況を示した「通れるマップ」を、この会議終了後に県のHPで公開するので、参考にさせていただきたい。

- 被災市町における避難所運営等のマンパワー不足に対しては、本日時点で、県と金沢市から20人を派遣するとともに、総務省との調整を経て、7県市の49人が現地入りしている。

今後も、順次、応援職員を派遣し、早々に100人規模の体制を整えることにより、被災市町の災害対応を支援する。

## 2. 会議最後の発言

- 発災以来、昼夜を分かたず、被災地の支援に注力いただいているすべての関係者の皆さんに対し、改めて感謝申し上げます。

ご苦勞をおかけしているが、引き続き、インフラ確保に全力をあげていただきたい。

- 冒頭に申し上げた仮設住宅における家電製品の修繕や取り換え、再支給については、被災者の皆さんに速やかに周知が行きわたるよう、広報をお願いしたい。
- 特にこの週末は、一人でも多くのボランティアの皆さんに協力いただく必要がある。

昨日紹介したWEB上でマッチングする「スケット」ボランティアの利用も含め、市町等と連携し、派遣地区・人員のさらなる拡大をお願いしたい。

- 明日は首相官邸を訪問し、岸田総理に対し、激甚災害への早期指定をはじめ、地震と一体的な手厚い支援を要望する予定である。